

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 生産性の高い農業経営の確立

事業名 **産学官連携畜産技術高度化促進事業**

[0758]

部名	経済部	事業開始年度	平成18年度	実施計画事業認定	対象
課名	農業振興課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市内酪農家団体</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>産学官連携による優良牛の育成を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>市内酪農家で構成する江別市酪農振興協議会が酪農学園大学等との連携事業を主とした事業について補助金(補助率1/2以内)を交付する。 江別市ホルスタインシヨウ(年1回:7月)</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	市内酪農家団体数	団体	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	314	350	0	350
活動指標2						
成果指標1	市内エクセレント牛(体型得点90点以上)の頭数	頭	10	5	4	10
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	314	350	0	350
正職員人件費(B)		千円	3,343	4,149	4,030	4,073
総事業費(A)+ (B)		千円	3,657	4,499	4,030	4,423

費用内訳	
22年度	ホルスタインシヨウ開催中止のため 補助金 0円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	昭和51年に開始された畜産技術高度化促進事業について、平成17年度の江別市ホルスタイン共進会を酪農学園大学との連携で開催したことから、平成18年度からは、産学官連携事業補助へと発展させる。	事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

市内酪農家を対象とした事業であり、乳牛の改良並びに優良牛の育成を図ることは、酪農経営の安定に寄与するため妥当です。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

優良牛を育成することにより、生産性の高い酪農経営の確立が可能となります。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

年々参加者も増えており、成果はあがっています。しかしながら、平成22年度については、宮崎県で発生した口蹄疫の影響を受け、防疫上の理由から開催を中止しています。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

高齢化や担い手不足の影響を受け、農家戸数が減少する中において、江別共進会への参加戸数・出陳頭数を維持している。また、石狩管内や全道大会で入賞を果たしているなど、江別の優良牛の育成は高いレベルまで達成されています。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
 根拠は？

協賛企業が減少する状況で、補助金を削減することは、イベントの開催自体が困難になってしまいます。